

## バイオリソース実験施設 (BRL) を利用するプロジェクトの募集

(2022.3.4)

### 【BRL 施設のコネプト】

野生種、あるいは疾患を自然発症した実験動物を使用するだけでなく、目的に適した動物を新規開発すること、それを開発するために遺伝子改変細胞を開発すること、そして、そのための遺伝子改変用ベクターの開発を開発することを目的として設立されました。G-S-M をデザインした BRL のロゴは、遺伝子(Gene)から細胞(Single cell)、さらに動物個体(Mouse)までを俯瞰する発想の重要性を象徴しています。

### 【募集期間】

2022 年 3 月 5 日より募集開始いたします。2022 年 4 月 1 日以降の任意の時期に開始する、次項のいずれかのプロジェクトを、募集いたします。bio-func@cc.tuat.ac.jp 宛てにご連絡ください。必要に応じて、ウェブ会議を設定させていただきます。

なお、応募された複数のプロジェクトの内容により、受け入れ可能な容量に達し次第、募集は終了させていただきます。

### 【募集するプロジェクトの例】

1. 動物実験（糖尿病予備群モデルマウス、がん転移モデル、など）による薬理活性物質（開発途上の候補成分も含む）の活性及び副作用の評価に関する内容。飼育検証期間は任意に設定できます。
2. 動物実験（マウス、ラットなど）による食品成分、栄養補助剤（開発途上の候補物質も含む）の活性及び副作用の評価に関する内容。
3. 動物実験に関する技術研修等。

### 【募集件数】

プロジェクトの種類と規模にもよりますが、計 2 件程度。動物飼育室は 2 階の通常仕様の飼育室 1 室ですので、複数のプロジェクトの場合、飼育室は共用となります。共用を避ける必要がある場合は別途、ご相談させていただきます。

### 【プロジェクトの実施形体と費用】

1. 生命機能科学部門齊藤教授との共同研究契約（単年度～数年度で契約期間は双方の合意により決定）に基づき、学内のベンチャーラボ (VL) の実験室 (BRL に近接した建物内) を別途借用し、そのプロジェクトの中で、本施設を使用する場合：BRL 使用料 (別途規定)、VL 実験室借用要件として年間¥2,000,000 以上の共同研究費 (VL 実験室借料¥12,000/m<sup>2</sup>/年、VL 実験室光熱費、1 名以上の共同研究員費 (¥39,780/人/月) を含む) を要します。動物実験以外の細胞・遺伝子関連実験は齊藤研究室の装置を無償で利用して実施できますので、効率的にプロジェクトを遂行できます。なお、共同研究員とは、学外者が学内で活動するための身分です。社会人学生の場合は該当しません。
2. 生命機能科学部門齊藤教授との共同研究契約（単年度～数年度で契約期間は双方の合意により決定）に基づき、齊藤研究室の実験室と BRL を使用する場合：BRL 使用料 (別途規定)、及び¥1,000,000 以上の共同研究費 (1 名以上の共同研究員費 (¥39,780/人/月) を含む) を要します。なお、社会人学生がプロ

プロジェクトに参加する場合は、共同研究員になる必要はありません。

3. 生命機能科学部門齊藤教授との共同研究契約（単年度～数年度で契約期間は双方の合意により決定）に基づき、BRLのみを使用する場合：BRL 使用料（別途規定）、及び1名以上の共同研究員費（¥39,780/人/月を要します。なお、社会人学生がプロジェクトに参加する場合は、共同研究員になる必要はありません。